

# 加古川観光大使に 就任しました！

このたび加古川市出身で陸上自衛隊中部方面音楽隊長を務める柴田昌宜さんが観光大使に就任されました。

柴田さんのプロフィールとともに3月20日に行われた演奏会の模様をお伝えします。  
(写真は加古川市提供)

## 【プロフィール】

大阪音楽大学卒業(トランペット)、同大学専攻科修了(指揮)。

2003年、陸上自衛隊に一般幹部候補生として入隊。中央音楽隊所属となり、全国の音楽隊員への教育を担当。2007年から第15音楽隊長(那覇)を務めたのち、中央音楽隊運用訓練班長を経て、防衛省陸上幕僚監部広報室で陸上自衛隊の広報を担当。

この間、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院国際マスタークラスに選出され指揮のディプロマを取得するとともに、東京藝術大学(派遣履修生)研修をはじめ国内外において数多くの研鑽を積む。また、米国防総省における日米合同記念式典での指揮やパプアニューギニア国防軍音楽隊の育成支援など音楽隊による国際交流にも貢献。

これまでに指揮を下野竜也、松尾昌美、夏田昌和、P. ギュルケ、作曲法を川島素晴、トランペットを橋爪伴之、D. ドワヨン、竹森健二の各氏に師事、兵庫県加古川市出身。



陸上自衛隊中部方面音楽隊

しばた まさのり  
隊長 3等陸佐 柴田 昌宜 さん

## 故郷で音楽隊長として演奏会を開催！ ～ステージ上で大使就任式が行われました～

去る3月20日、加古川市民会館において陸上自衛隊中部方面音楽隊の演奏会が開かれました。

この演奏会は加古川市出身の柴田氏の凱旋公演でもあり、プログラムも“加古川オリジナル版”に構成され、第93回選抜高等学校野球大会に21世紀枠として出場する兵庫県立東播磨高等学校(柴田さんも同校出身)の応援として「栄冠は君に輝く」が演奏された際は、「陸自の歌姫」鶴(つぐみ)真衣さんの高く伸びやかに響く歌声に会場全員が魅了されました。演奏会終盤には、加古川観光大使の就任式が行われ、岡田康裕加古川市長からは委嘱状が、大庫隆夫観光協会長より加古川観光大使のたすきと名刺の特大型レプリカが手渡されました。アンコールではたすきをかけた柴田さんの指揮で加古川市歌が演奏され、柴田さんも鶴さんとともに美声を披露し、大いに盛り上がった演奏会となりました。

演奏会終了後の記者会見で柴田さんは「加古川市民会館は、小学生の頃に所属していた金管バンドで初めて出場した思い出の場所。今日は恩師にも来ていただき錦を飾らせてもらった。加古川市は人が温かく、都会に近くありながら川も山もあって自然が多く、美味しい食べ物もある。魅力ある加古川市を内外に伝えていけたら」と抱負を語りました。

記念撮影で笑顔を見せる柴田さんと岡田市長(左)・大庫観光協会長(右)



## 柴田さんの所属する

### 「陸上自衛隊中部方面音楽隊」

兵庫県伊丹市に所在する方面総監直轄の音楽隊。昭和35年1月に創隊以来、近畿・東海・北陸・中国・四国の2府19県の広範囲にわたり、年間約100回に及ぶ演奏活動を行っている。

主な活動として、隊員の士気高揚のための演奏をはじめ、自衛隊の儀式及び国家的諸行事での式典演奏や、定期演奏会、室内楽演奏会、ファミリーコンサートなどの各種演奏会があり、その他にも各府県市町村及び諸団体の公共的行事に参加し、中部方面隊の活動を幅広く広報しています。

また、学生に対する演奏指導や、レコード会社からの依頼によるCDの録音協力にも積極的に取り組んでおり、地域の皆様から親しまれる音楽隊として活動している。

※後日、柴田氏が加古川市役所を訪問し「加古川市歌」を吹奏楽用に編曲した楽譜と、それを基にした音楽隊の演奏を収めたCDを寄贈しました。